

品格を感じる黄瀬戸と織部

ゆうから
友佳楽工房(札幌市)

渡部源土 作陶展

編集発行人/ギャラリー愛海詩
佐藤 睦子

〒064-0821
札幌市中央区北1条西28丁目2番17号
TEL・FAX/(011)613-1112

WEBSITE
http://www.emishi-s.com
E-mail:kougei@emishi-s.com

期 間：平成24年7月3日(火)～7月15日(日)

場 所：札幌市中央区北1条西28丁目2-17 [TEL 011(613)1112]
ギャラリー愛海詩 2F

時 間：午前11時～午後6時(月曜日定休)



(創作中の渡部源土)

作品展によせて ～ ご挨拶

平成十年は人生の分岐点ではなかったかと思えます。ビジネスの世界から何かに導かれるように作陶生活に飛び込んだその時です。顧みればその年の前後は社会全体においても大きな転換時であったと思います。それまで熾り又續っていた無理・無情が現実となつて一気に吹き出し所謂「格差社会・勝ち組負け組」なる言葉が使われはじめた年です。それ以降景気の良い話は少ないですね……。

それで私が「導かれた何か」と言う前所述の「社会の転換・流れ」に乗っていたようにもありませんが、それよりもそれまで蓄積されていた価値観・人生観ではなからうかと思つています。人生を二度充実！ 人生二毛作！ です。

多くの方から心配し親身なる御意見を戴きました。「陶芸家なんてうまくいくはず無い。アホか」「今辞めたら年金など損だらう」「(絶句)……でも頑張つてね」「奥さんかわいそう」等々……。でも逆の立場なら私も心配で斯様なことを言つたと思えます。

三年前に札幌に帰郷し自然に囲まれた生活を送っています。旧友との交流が復活し、また時折サラリーマン時の先輩・友人達が遠方から訪ねてこれ「楽しからずや」のなかでの作陶生活です。これは支えてくださる皆様のおかげです。感謝の一言です。このような環境のもとですぐに新たな作品が出来そうですが……これがなかなか苦心しています。まだまだ未熟で途険しく遠かなりです(再度の充実に向かっている途上です)。今回の個展では黄瀬戸・織部が中心ですがそのなかに現在の環境で生まれたものを出品させていただきます。忌憚の無いご批評をいただきたいと思

います。宜しくお願い申し上げます。 渡部 源土(佳文)

(追記)

昨年十一月、育ててくれた茨城県笠間市に個展のため伺いました。茨城の震災状況についてはあまり報道されていませんが家屋や道路などのインフラの被害は甚大で復旧途半ばでした。また陶芸家仲間の多くは、工房、窯、作品等に大きな被害をうけ未だに苦しんでいます。そのなかで多くのお客様が会いに来てくださいました。感謝とともに復興を願っています。

略 歴

- 1949年 北海道生まれ(北海道大学卒業)
- 2000年 茨城県笠間窯業指導所修了
(茨城県笠間市にて作陶に入る)
- 2003年 以降 公募展出品(入選)
 - ・日本陶芸展
 - ・伝統工芸新作展
 - ・日本伝統工芸展
 - ・益子陶芸展
- 茨城県陶芸美術館「陶 彩色展」 出品
- 同館 「笠間芸術の森陶芸展」 //
- 同館 「現代茨城の陶芸展」 //
- 2008年 現在地に転居

ギャラリー愛海詩で5回目の作品展です。茶道具、花器、香炉、日常使いの器など、約50点を展示する。
誠実な仕事ぶりの結集を1つ、2つ……みなさんの生活の潤いにしていただければ幸いです。

★ 渡部源土ギャラリー滞在日時

3日(火)、4日(水)、6日(金)、7日(土)、8日(日)、13日(金)、14日(土)、15日(日)の午後1時から5時まで居ります。その他の日時でも作家との交流をしていただくことができるかと存じますのでギャラリー愛海詩へご遠慮なく、お問い合わせ下さい。



織部 刻文食籠 巾21.0cm×高さ11.0cm



黄瀬戸 香炉 巾18.0cm×高さ17.5cm



織部 茶碗 巾11.0cm×高さ8.5cm



黄瀬戸 輪花鉢 巾23.0cm×高さ6.0cm